

令和4年度 文化庁予算の概要

	前年度予算額	令和4年度予算額	比較増額	比較増率
文化庁予算	1,075億円	1,076億円	1億円	0.1%

※デジタル庁一括計上分を含む

※令和3年度補正予算として別途【905億円】を計上

文化芸術の新たな政策パッケージを基軸とした文化芸術の創造・発展と人材育成 223億円 (224億円) [695億円]

文化芸術のグローバル展開 44億円 (47億円)

- ・トップアーティストのグローバル展開支援 4億円 (3億円)
- ・我が国におけるアート・エコシステムの形成 3億円 (2億円)
- ・国際文化芸術発信拠点形成事業 8億円 (9億円)

文化芸術の創造支援 88億円 (89億円)

- ・舞台芸術創造活動活性化事業 33億円 (33億円)
- ・劇場・音楽堂等機能強化推進事業 22億円 (24億円)
- ・障害者等による文化芸術活動推進事業 4億円 (4億円)
- ・『食文化あふれる国・日本』プロジェクト 2億円 (1億円)

芸術教育体験・文化芸術の担い手育成 91億円 (88億円)

- ・新進芸術家グローバル人材育成事業 12億円 (12億円)
- ・文化芸術による創造性豊かな子供の育成 73億円 (71億円)
 - 文化芸術による子供育成推進事業 55億円 (新規) [24億円]
 - 伝統文化親子教室事業 15億円 (14億円) [11億円]
 - 地域文化倶楽部（仮称）の創設に向けた実践研究 1億円 (1億円)
 - 中学校における部活動指導員の配置支援事業 2億円 (新規)

（参考）令和3年度補正予算

コロナ禍の文化芸術活動等の継続・発展等支援 621億円

- ・コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業（ARTS for the future!等）
- ・文化施設の活動継続・発展等支援事業
- ・ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業

文化財の匠プロジェクト等の推進による文化資源の持続可能な活用の促進 444億円 (458億円) [155億円]

文化財の匠プロジェクトによる継承基盤の整備 252億円 (267億円)

- ・文化財の修理人材の養成と用具・原材料の確保 6億円 (5億円)
- ・伝統技術関連用具・原材料等調査事業 0.4億円 (0.3億円)
- ・国宝・重要文化財建造物保存修理強化対策事業 112億円 (115億円) [6億円]
- ・国宝・重要文化財美術工芸品保存修理抜本強化事業 10億円 (11億円) [2億円]
- ・歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業 52億円 (56億円) [15億円]
- ・重要文化財等防災施設整備事業 18億円 (26億円) [64億円]

多様な文化遺産の公開活用の促進等 193億円 (191億円)

- ・無形文化財の伝承・公開等 10億円 (10億円)
- ・地域文化財の総合的な活用の推進 24億円 (24億円) [65億円]

文化振興を支える拠点等の整備・充実 363億円 (355億円) [55億円]

美術館・博物館活動の推進 26億円 (25億円)

- ・文化拠点機能強化・文化観光推進プラン 22億円 (20億円)
- ・博物館機能強化の推進 4億円 (新規)

国立文化施設の機能強化・整備 318億円 (312億円)

- ◆独立行政法人日本芸術文化振興会
- ・国立劇場再整備関係経費 16億円 (4億円)
- ・舞台芸術グローバル拠点事業 1億円 (新規)
- ◆独立行政法人国立美術館
- ・アート・コミュニケーションセンター（仮称）経費 8億円 (8億円)

生活者としての外国人等に対する日本語教育の推進 10億円 (10億円)

DX時代の著作権施策の推進 2億円 (2億円)

（参考）

この他、国際観光旅客税財源事業については観光庁に22億円が一括計上されている。

復興特別会計については、復興庁に被災ミュージアム再興事業 2.5億円を計上。